

特定非営利活動法人東京難病団体連絡協議会 主催
難病になっても展 2026 日替りプログラム

難病を題材にした映画上映会

「難病になっても展2026」×「MBT みんなで守るいのちの映画祭」

難病克服支援「MBTみんなで守るいのちの映画祭」は、希少な疾患ゆえに社会から孤立しがちな難病患者の苦境を多くの方に知っていただき、難病研究者や治療に携わる人々を支援する“難病克服キャンペーン”の一環として、2021年よりスタートした映画祭です。

東難連（NPO法人東京難病団体連絡協議会）主催「難病になっても展2026」との連携により、過去の受賞作から難病を題材にした3作品を上映いたします。ぜひご参加ください。

※先着30名様とさせていただきます。

- 日時 2026年5月23日（土）16:00～17:00（開場15:30）
- 会場 東京都立中央図書館ホール（東京都港区南麻布5-7-13）
- お申し込み

ご鑑賞をご希望の方は、以下を明記のうえメールでお申し込みください。

- ◆ご住所、◆お名前、◆電話番号、◆鑑賞希望人数
- ◆鑑賞のお申込みメールアドレス: info.tounanren@mist.dti.ne.jp

※車いすで来場予定の方は事前にお知らせください。

※お問い合わせは都立中央図書館ではなく、東難連までお願いします。



アクセス地図
QRコード



鑑賞申込み
メールアドレス
QRコード

.....【上映作品】.....

『パンにジャムをぬること』（23分57秒）

瀬浪歌央監督（第1回MBT映画祭特別賞）

聴覚障害を持つ友人の「障害者はいつも映画の中で頑張らされている」という言葉からこの映画は生まれました。

『私じゃない私に』（6分46秒）

研嚙監督（第2回MBT映画祭特別賞、クラウドファンディング観客賞）

きょうだい児のものがたり。この女の子の立場だったら？自分が親の立場だったら？どう感じますか？

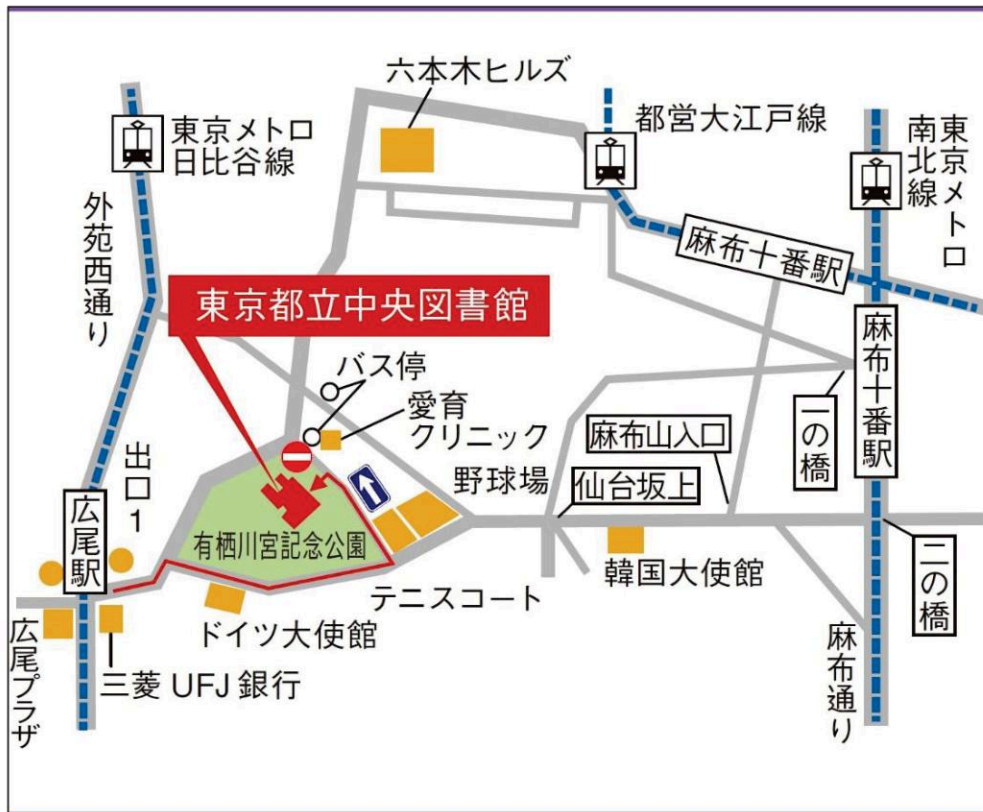
『産むということ』（25分3秒）

マキタカズオミ監督（第3回MBT映画祭最優秀作品賞）

妊娠中の女性は、ある日の検診で子どもに障害がある可能性を告げられた。出生前診断を巡る夫婦の葛藤と選択。

お問い合わせ 特定非営利活動法人 東京難病団体連絡協議（東難連）
<http://www.tounanren.org/>
E-mail tounanren@mx5.ttcn.ne.jp
TEL&FAX 090-2558-0300（※留守電対応のため、折返し連絡いたします）





● 交通機関

東京メトロ日比谷線

- ◆ 広尾駅 1 番出口から徒歩 8 分
- ◆ 六本木駅 徒歩 20 分

東京メトロ南北線

- ◆ 麻布十番駅 徒歩 20 分

都営地下鉄大江戸線

- ◆ 麻布十番駅 徒歩 20 分
- ◆ 六本木駅 徒歩 20 分

都営バス 橋 86 系統(目黒駅前～新橋駅前・東京タワー)

- ◆ 愛育クリニック前 徒歩 2 分
- ※新橋駅前発目黒駅前行きは平日及び土曜の朝夕のみ運行

港区コミュニティバス(ちいばす)

- ◆ 麻布西ルート(運行間隔 20 分)
- 97 愛育クリニック 徒歩 2 分

◆ 港区自転車シェアリング

C2-13.麻布運動場 徒歩 2 分

C2-05.ありすいきいきプラザ 徒歩 3 分

※サイクルポートの場所は、「港区自転車シェアリング」のページよりご確認ください。

車での来館

利用者用として約 20 台分の駐車場があります。

そのほかに、障害者等のスペースとして、2 台分を用意しています。

台数に限りがあるため、できるだけ公共交通機関での来館をお願いします。

※駐車場入口前の道路は一方通行です。テニスコート側からお進みください。愛育クリニック側からは進入できませんので、ご注意ください。